



前回の特集「地域スポーツクラブ」に対して市民38人から66件の意見をいただきました。
代表的なものを紹介します。

(1) 地域におけるスポーツ活動を推進するために、皆さん自身は何をしたら良いと思いますか？

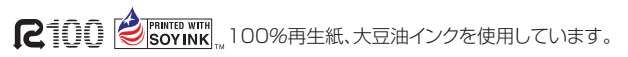
- 地域でスポーツ活動を行っている指導者やボランティア、団体に対して積極的に支援する。
(泉が丘3丁目 20代)
- 家の中にこもらず、積極的に地域のスポーツ活動に参加する。
(五代2丁目 60代)
- 「スポーツ」というと用具購入や施設利用を考えると、そうするとなかなか始められないので、まずは体を動かす習慣をつけるようにする。
(鶴田町 60代)
- 施設や指導者を望まず、そして、慌てず、焦らず、ゆっくりと、1人でもできるスポーツを持続する。
(若松原2丁目 60代)
- スポーツの楽しさやスポーツで得られることを明確に伝え、友人や周りの人への積極的な勧誘を行う。
(雀の宮1丁目 20代)

(2) 生涯に渡りスポーツに親しんでいくために、行政に望むことは何ですか？

- 何といたってもスポーツをする機会が必要である。そのために、定期的にスポーツ行事を開催し、広報うつのみやなどで広く市民にPRして欲しい。
(五代2丁目 60代)
- 地域内に子どもが遊べる空間、仲間、時間を取り戻すなど、健全な心優しい子どもたちを育てていけるように工夫していただきたい。(宝木本町 60代)
- 水泳が好きでプールをよく利用するが、無料開放の日を設定したり、もっと安く利用したりしてくれればうれしい。
(今泉町 30代)
- 家の近くに体を動かせる場所がないと、遠くへ行かなければならないので、身近な場所にスポーツ施設を作って欲しい。
(清原台6丁目 60代)
- 日々のウォーキングのために、特別な施設や器具は必要ないので、安心して歩くことができる環境を整備して欲しい。
(今泉町 40代)

広報うつのみや特集号は、皆さんと一緒に考えていただきたいテーマを取り上げ、年4回発行します。
また、毎月1日発行の通常号の次回(1月号)は、1月3日配布です。

広報 **うつのみや** 特集号はホームページでも見られます。
<http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/>



前回の特集「地域スポーツクラブ」の概要



さまざまな効果があるスポーツ
スポーツは、体力の向上などに伴って健康を増進させるとともに、活動を通してコミュニケーション能力が育成され、他人への思いやりが醸成されるなど、さまざまな効果が期待できる。

本市はスポーツ施設の数やスポーツ観戦の機会など、スポーツ環境が充実している一方で、市民の皆さんのスポーツを行う頻度は、全国的に見ると平均レベルをやや下回っている。そのような中、いつでも、身近な場所で気軽にスポーツができる機会があれば、より多くの皆さんがスポーツに親しめるのではないかと。

全中学校区域に地域スポーツクラブを設立

市では、「スポーツ振興基本計画」を策定し、市民のスポーツ活動実施率を50%にするという目標を立て、「地域スポーツクラブの育成」を最も優先的に取り組むべき事業と位置づけている。地域の人材・資源を生かし、地域住民が主体的にクラブを設立・運営していくものが地域スポーツクラブ。市には現在、2つの地域スポーツクラブがあるが、今後はすべての中学校区域を単位に25のクラブの設立を目指していく。スポーツを通して「人間力」の向上を目指す心である「スポーツ心」をはぐくむまちをつくるため、ぜひ、皆さんの地域で地域スポーツクラブを立ち上げてほしい。



郵便はがき



差出有効期間
平成21年8月
11日まで
【切手不要】

(受取人)
宇都宮市旭1丁目1番5号

(宇都宮市役所)
宇都宮市総合政策部広報広聴課

行



3 2 0 8 7 4 0

3

氏名	住所	
年齢	歳	職業

差し支えなければ記入してください。広報紙で意見を紹介する際には、氏名の記載はしません。なお、はがきの情報については、目的以外には使用しません。